

実施日：2022・2・11 天候 晴

記録：3班 笹井 宏悦

観察コース：パークセンター⇒南出入り口付近⇒東出入り口付近⇒山田池⇒パークセンター

1. ブナ科の冬芽（頂芽・頂生側芽・側芽の確認）

*常緑樹



アラカシ 芽鱗は多数で5列に並ぶ



マテバシイ 冬芽は黄緑色を帯びる



ツクバネガシ 芽鱗は多数で5列



ウバメガシ 芽鱗は多数



ウラジログashi 冬芽は帯褐色



シラカシ 芽鱗は多数が
瓦重ねに5列に並ぶ

*落葉樹



コナラ 芽鱗は五角椎に並ぶ



レッドオーク（北米原産）



クリ 芽鱗は2枚でクリの果実
にそっくり～ 頂生側芽なし

*常緑樹・落葉樹とも、頂生側芽や側芽が微小の樹種が有り、有無の確認に時間をかけた。

1本の樹木中、芽の大きさなどが環境条件によって変化があったように思う。

*** 落葉樹**



カシワ 芽鱗は灰白色の短毛が密生



クヌギ 冬芽は帯栗褐色
芽鱗は5列に並ぶ



アベマキ 冬芽は帯赤褐色
芽鱗は5列に並ぶ

2. 裸芽の種類



シナサワグルミ (クルミ科)
褐色の短毛密生 有柄



ナワシログミ (グミ科)
鱗毛密生



アカメガシワ
(トウダイグサ科)
星状毛密生



オニグルミ (クルミ科)
芽鱗脱落后の裸芽
黄褐色の毛が密生

3. 冬芽の確認が出来難い常緑樹種



イヌマキ (マキ科)



ヤマモモ (ヤマモモ科)



キョウチクトウ (キョウチクトウ科)

* 芽鱗らしき鱗片は認められないが、この状態で成長しながら冬季を過ごしていると考え。

4. よく似た仲間の冬芽



アキニレ（ニレ科）
冬芽は1～2mmで枝に伏生
小さな副芽が有る



ケヤキ（ニレ科）
冬芽は枝に開出してつく



ムクノキ（アサ科）
芽鱗は伏毛有り暗褐色よう



エノキ（アサ科）
冬芽は枝に密着して伏生

5. 枝の伸び方(仮軸分枝型の一つ)



リョウブ（リョウブ科）



ヤマボウシ（ミズキ科）

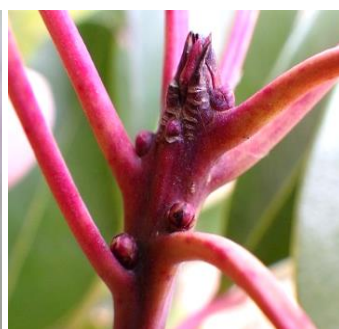


ホソバタイサンボク（モクレン科）

6. 観察に役立つでしょうか？



イロハモミジ
膜質鱗片が目立つ。
他にオオモミジ・
コハウチワカエデ・
ハウチワカエデなど



左がヒメユズリハ（ユズリハ科）右がユズリハ
雌雄異株
葉腋に見えるのは花芽



イチョウの短枝
何年経っているでしょうか？



7. 花や果実・鳥などのいろいろ



サンシュユ (ミズキ科) 果実



プラタナス (スズカケノキ科)



ギョリュウバイ (フトモモ科)



ユリノキ (モクレン科) の果実 (翼果)



ギンドロ (ヤナギ科)
白と黒の対比が美しい



シナサワグルミ (クルミ科)
果実。北風に吹かれても残っている。



クロガネモチ (モチノキ科)
この時期、果実の赤色が目立つ



ヒマラヤザクラ (バラ科)
葉桜 もう新緑？



シナマンサク (マンサク科)
枯葉も付けている



ロウバイ (ロウバイ科)



プラタナス (スズカケノキ科)
上から果枝～果軸～果実 (そう果)
葉柄内芽になっている



マガモ 夫婦かも？



メジロ タチバナモドキの果実